

会員募集中

# 甲斐犬源友会

甲斐犬愛護会所属

勇猛、伶俐を兼備しイブシ銀の銀狼。  
忠誠心、信頼性は日本犬の中でも随一。  
山の男達との数々の伝説を生んだ幻の地犬。  
昭和9年より天然記念物指定の希少犬。



## 入会のご案内

甲斐犬源友会は次の活動を行います。

1. 優良甲斐犬の保護育成
2. 太古以来の日本犬研究
3. 郷土の文化伝統の継承
4. 甲斐犬愛好家の親睦交流

定期集会：年2回

4月の第1日曜日

10月の最終日曜日

山梨県韮崎市の河川公園広場で開催される甲斐犬愛護会展覧会に参加後実施（別会場にて親睦交流会）

その他、任意参加の親睦会有り

会費：現在は有りません。

親睦会は実費

入会資格：飼育の有無に関わらず

賛同の意思の有る方

ブームを脱し真の

愛犬家・継承者として

様々な犬達のブームが起こり消えて行くのを観るにつけ、私たち甲斐犬愛好家も考えなければなりません。遙か太古の昔より日本人と共に歩んできた日本犬、取り分け希少な甲斐犬の優れた特質を後世に正しく伝えることが義務と考えます。それには皆さんの犠牲的な協力が不可欠です。しかし、そこから得るものも計り知れません。

甲斐犬源友会の趣意書から抜粋すれば「先達が愛護、保存してきた甲斐犬の勇猛、伶俐を兼備した雄姿はまさに日本の地犬としての傑作であり、飼い主に対する忠実性と信頼性は現代の日本人が必要としている愛情、思いやり、いたわり、癒し等の心の安らぎをもたらす最高の味方となることを確信するものです。日本文化を知らずして国際化は語れず、日本犬をしらずして世界の犬も語れない、との思いを強くするものです。二十一世紀の日本において、生活をより深く、より多彩に、より豊かに楽しむためにも異体同心となれる甲斐犬を自信を持って善良なる愛犬家各位へお勧めする次第です。」とあります。

## 日本人との関わり

現在では甲斐犬の優れた特性が評価され家庭犬・番犬としての価値も見出されていますが、併せて古来よりの「虎の一芸」とも呼ばれた大型獣をも恐れぬ狩猟本能や忠誠心が縄文人にも愛され、人間と共に埋葬された事実を忘れてはなりません。その様な日本犬の歴史と農山村文化の研究も我々の大きな課題の一つといえます。

## 主な活動 + 当然ながら親睦と交流

### 其の壹

#### 保護育成

優秀犬の作出  
甲斐犬愛護会展覧会にて2年連続総合優勝獲得



### 其の貳

#### 歴史研究

日本犬を通して太古よりの日本人と犬との関わりを研究



### 其の参

#### 郷土文化

狩猟文化を始め農山村文化の伝承につとめる事を目的とします



# 甲斐犬源友会通信

甲斐犬愛護会所属



勇猛、伶俐を兼備しイブシ銀の銀狼。  
忠誠心、信頼性は日本犬の中でも随一。  
山の男達との数々の伝説を生んだ幻の地犬。  
昭和9年より天然記念物指定の希少犬。

## 甲斐犬源友会の姿勢

について

当然の事ながら我々は愛犬家であり、動物好きである事は論を待たない。しかし、貴重な種を残し育成するという目的を持つとき、単なる愛犬家とは異なる判断を要求されることも考えられる。

多頭飼は、他犬種とは、交配は、分譲は等々考えなければならぬ事も沢山あります。よく語られる逸話に「動物を愛して止まない」といわれた著名

人が、甲斐犬の購入希望をしたときにお断りした。というものが有りま

す。おのずと単なる愛犬家と保護育成を目指す者との分かれ道がそこにあります。一般の方には甲斐犬を理解し、知って頂ければよしとし、厳格に己を律するのは我々源友会員の立場と考えております。営業中心の方々の誇大な話しや不誠実な取引も有る事を耳にします

が、目先ではなく長期的に見ると甲斐犬にとって

非常に不利となります。

正しい形質を残した、優れた犬は沢山はいません。会員相互の協力と研鑽で正しい活動を致しましょう。しかし、あまり肩肘を張った主張は独善に陥ります。一般愛犬家の皆さんとも連携して良いものを作って行きたいと思

## 事務局・支部の設置

について

平成十五年現在山梨県・神奈川県・東京都に

## 本部事務局犬舎移転

山梨県下で確保していた本部飼育犬舎が移転となりました。長年契約頂いた地主様が逝去され、相続の関係で移転の必要が生じました。関係各位の皆様にお心当たりがあればご一報下さい。よって、当分の間神奈川県川崎市の小林犬舎に置きます。

〒二一四の〇〇三五

神奈川県川崎市多摩区長沢

甲斐犬源友会事務局（小林方）  
TEL 080-1052-9284

TEL・044-975-0916

## 第一一八回

### 甲斐犬愛護会 展覧会成績

平成15年10月26日(日)

総合優良犬優勝 大優勝旗

小玄太号 川崎小林犬舎

壮犬(牡)の部 一席

白鳳の駒龍号 川崎西将犬舎

成犬(牝)の部 二席

水無月姫 桃太郎犬舎

二年連続の総合優勝です。

## 入会のご案内

甲斐犬源友会は次の活動を行います。

1. 優良甲斐犬の保護育成
2. 太古以来の日本犬研究
3. 郷土の文化伝統の継承
4. 甲斐犬愛好家の親睦交流

定期集会：年2回

4月の第1日曜日

10月の最終日曜日

山梨県韮崎市の河川公園広場で開催される甲斐犬愛護会展覧会に参加後実施（別会場にて親睦交流会）

その他、任意参加の親睦会有り

会費：現在は有りません。

親睦会は実費

入会資格：飼育の有無に関わらず

賛同の意思の有る方

支部を置いていません。今後も逐次支部を増やす考えです。概ね県単位で支部を設置したいと思えます。支部単位の交流会も検討しております。事務局までお知らせ下さい。講師の派遣ほかの支援を致します。

# 甲斐犬源友会通信

甲斐犬愛護会所属



〒214-0035 神奈川県川崎市多摩区長沢 1-18-3  
甲斐犬源友会事務局 (小林方)  
TEL 080-1052-9284、044-975-0916  
kai.jpnet.ne.jp  
メール: kai@mail.jpnet.ne.jp

## コラム 甲斐犬 No.1

今回号からコラムを連載致します。ご意見をお願いします

### 天然記念物「甲斐犬」とは

大正 8 年に史蹟名勝天然記念物保存法が上程、公布された。甲斐犬は昭和 9 年に秋田犬に引き続き認定された。その後紀州犬、芝犬、四国犬、北海道犬が認定され日本犬が保存された。この法律の郷土愛護と自然保護の思想を我々甲斐犬源友会も大切にしていきたいと考える。

戦後の昭和 25 年に文化財保護法制定され、翌年に告示の天然記念物の指定基準(動物に関する)では

- (一) 日本特有の動物で著名なもの及びその生息地
- (二) 特有の産ではないが、日本著名の動物としてその保存を必要とするもの及びその生息地
- (三) 自然環境における特有の動物又は動物群集
- (四) 日本に特有な畜養動物
- (五) 家畜以外の動物で海外よりわが国に移殖され現時野生の状態にある著名なもの及びその生息地

(六) 特に貴重な動物の標本

とある。甲斐犬は当然(一)の条項を満たしている。日本古来の中型犬で、甲斐(山梨県) 信濃(長野県) 付近の山岳地帯で猪獺や鹿狩りに使われていた。他犬種を近づけぬ性質などから純血が保たれたといわれている。今回は「甲斐犬の特徴」について

### 血統書についての醜聞

血統書の申請には

- ・ 申請書
- ・ 交配写真
- ・ 会員の作出証明
- ・ 血統書(コピー)

等が必要である事を会員諸氏はご存知の事と思つた。しかし悪意があれば虚偽の申請も可能であろう。私たち源友会が所属している甲斐犬愛護会を除名処分となった団体が、い

かがわしい操作を行つて架空の血統書を作成し、更にその架空の血統の子犬を販売しているという話である。噂だけであつてほしいが二重登録や、甲斐犬と認定されない子犬を甲斐犬として高額で販売する事は赦すまじき行為である。会員諸氏もこの様な輩に巻き込まれないよう十分に注意してほしい。常に、優れた甲

斐犬を作出するという目的を忘れずに行動してほしいと思ひます。

### 子犬を分譲する意味

以前にこんな話を聞きました。それは「決して子犬をただで譲つてはいけな」というものでした。疑うようでないやな話ですが、二十年近い犬の一生の間で、飼い主の気持ちや生活が変わらないともいえません。ただで手に

入れたとなると粗末にされる事がある」と考えてしまつのは親心なのかも知れません。それはさておき、源友会の目的でもある優れた甲斐犬を作り残すという事からも多くの同志を募り、共に協力して行く事が必要です。その為に良い飼い主を探し分譲して行くことが必要です。源友会では原則として入賞犬の子犬以外の分譲は行いません。甲斐犬の優れた特性を残し広めるといふ目的から考え当然のことです。この点をご理解下さい。

### 東京地区の懇親会

十二月下旬に東京地区の会員の懇親会が会長列席のもと行われました。事務局分室の置かれてある東京渋谷区内の会場では、本年の反省と新年度に向けての抱負が話し合われましたが、「犬猿の仲」の申年を逆手にとつて大いに発展させることを誓ひ合いました。当然深夜までの酒盛りも欠かしませんでした。場所の関係で愛犬を同伴することは出来ませんが大いに盛り上がった事を報告いたします。全国の獵犬をお持ちの方のお話しを募集しています。ご協力下さい。